

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：齊藤 親

事業名 うべわんがん 宇部湾岸線	事業区分 街路	事業主体 山口県	延長 4.5 km
起終点 自：山口県宇部市中 央町 至：山口県宇部市東 須恵			
事業概要 宇部湾岸線は、主要都市の連携及び交通拠点への連絡を強化する山口宇部小野田連絡道路の一環として整備する地域高規格道路の一環として整備するものであり、国道190号厚南地域の慢性的な交通渋滞緩和 宇部小野田市街地間の連携強化 空港、IC等の交通拠点や中心市街地へのアクセス強化 厚南地域の都市的土地利用の促進を図ることを目的としている。			
H6年度事業化	H4年度都市計画決定 (H13年度変更)	H6年度用地着手	H9年度工事着手
全体事業費	860億円	事業進捗率	61%
計画交通量	21,800台/日		
費用便益分析結果	B/C： (事業全体) 2.0 (残事業)	総費用 ：(残事業)/(事業全体) /897億円 (事業費： /891.2億円) (維持管理費： /5.6億円)	総便益 ：(残事業)/(事業全体) /1862億円 (走行時間短縮便益：1773.6億円) (走行費用減少便益：64.8億円) (交通事故減少便益：23.7億円)
事業の効果等 円滑なモビリティの確保（山口宇部空港へのアクセス向上が見込まれる） 個性ある地域の形成（厚南地域の都市的土地利用の促進が図られる） 外11項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 宇部湾岸線は、交通渋滞の緩和、市街地間の連携強化等に重要な役割を果たすことが期待されている。また、厚南地区を始めとする市民や宇部市より早期整備の要望を受けている			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・山陽自動車道宇部下関線の開通、山口宇部空港の拡充等の高速交通体系の充実 ・厚南地区の大規模店舗の進出、発電所の新設計画等の都市的土地利用の促進			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成11年度から本格的に工事に着手し、ほぼ全域にわたって工事を実施している。また、用地取得も順調に推移している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残りの用地取得を早期完了させるとともに、工事を引き続き促進し早期供用を目指す。			
施設の構造や工法の変更等 橋梁上部工の新工法採用等により、コスト縮減に努めてきたところである。今後も積極的に新工法及び新技術を導入し、コスト縮減に努める。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すると、当初以上に事業の必要性、重要性は高まっていると考えられる。			
事業概要図			
		計画交通量	21,800台

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。